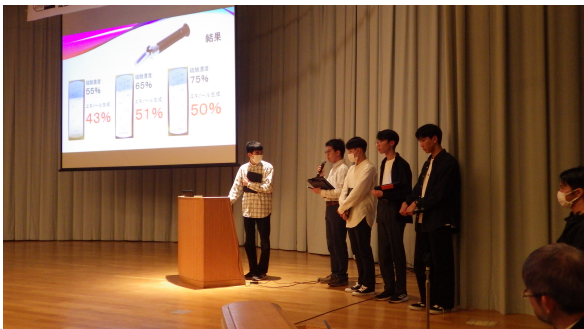
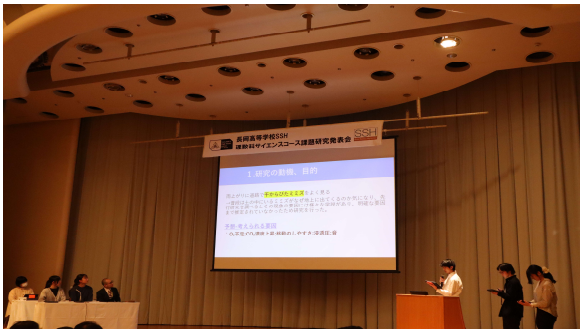


令和7年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	令和7年度SSH理数科サイエンスコース 課題研究発表会
期 日	令和7年4月22日（火）13時～17時
会 場	ホテルニューオータニ長岡 NCホール
対 象	理数科3年生51名 2年生47名 1年生81名 ドイツよりMPG高校生20名 計199名
目 的	科学および数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、問題解決に必要な分析力・創造性・レジリエンス力を育てる。
内 容	・本校理数科3年生サイエンスコース生徒（全14グループ）が課題研究の内容と成果、今後の展望を発表し、その後質疑応答、長岡技術科学大学の先生方からの講評をいただいた。 ・2年生は発表会運営の主体として仕事を行いながら、研究発表を聞き、質問することで、自分たちの研究について改めて見つめ直す機会となった。また、1年生は、先輩達の研究発表会へ臨む真摯な態度を見ることで、課題研究への知的好奇心と発表会に参加する際の心構えなどを実感することができた。 ・今年度は長岡技術科学大学の6名の先生方に参加いただき、会場で直接審査・講評をいただいた。また、オンラインではSSH運営委員の新潟大学の長束先生および青山学院大学の熊谷先生その他、SSHコーディネーター、県内高校教員、柏崎高校の生徒にも参加いただいた。
 	
 	

令和7年度 課題研究発表会 発表者の自己評価（回答者 40 人）

1. 自分にどのような力がついたと思いますか。	人数	割合
ものごとに対する好奇心を持つ	17人	43%
自ら意欲的にものごとを考える力	12人	30%
課題を見つける力	16人	40%
ものごとを探求する力	14人	35%
問題を解決する力	9人	23%
論理的に思考する力	14人	35%
ものごとを観察・洞察する力	8人	20%
創造性や独創性	4人	10%
特定の領域における知識力と常識力	10人	25%
知識や常識を応用する力	5人	13%
パソコン等情報機器を活用する能力	14人	35%
チームワークを活用する力	9人	23%
リーダーシップを発揮する力	5人	13%
目的に応じたコミュニケーションができる力	12人	30%
プレゼンテーション能力	12人	30%
レポート作成能力	10人	25%

2. 自分の研究や発表を客観的に5段階評価してください。	評価の平均
自主的・意欲的に取り組んだか	4.4
課題を見つけ、探求し、問題を解決したか	4.2
じっくりと観察・洞察をし、論理的に考えたか	4.2
テーマ設定や実験・実習の手法に独創性があったか	4.2
テーマに関する知識や常識が十分に身についたか	4.2
発表がわかりやすく、プレゼンテーションが的確であったか	4.2

3. 課題研究をどのように感じましたか。	評価の平均
4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：ややあてはまらない 1：全くあてはまらない	
夢中になって取り組んだ時期がある	3.5
研究活動は楽しかった	3.6
科学の面白さ・奥深さが分かった	3.7
発表を終えて達成感がある	3.6
発表を通じて自己の研究に対する理解が深まった	3.7
教科書にない実験・研究ができてよかった	3.6
将来この経験が役に立つと思う	3.5
通常の学習の威容の向上につながった	3.1
大学受験勉強の障害となった	2.3
指導する先生とコミュニケーションがとれてよかった	3.4

感想など

- 学校で授業を受けるだけでは行うことのない実験を、生徒主体で行うことができたのは、とても貴重な体験になった。化学以外の科目担当の先生からも色々な意見をうかがう中で、自分にはなかった発想を多く得ることができたので、今後研究を行うときも、様々な分野の人から情報を得るようにしたいと思った。
- 課題を定めてその課題に向けて様々に試行錯誤して取り組むことができてよかった。研究内容が少し甘く、足りないことが多かったので次回やる時に向けて考えていきたい。
- テーマによっては時間をそれなりに取られますが、何か一つのことをやり抜く経験にはなると思いました。
- 勉強、部活、課題研究のバランスが取れていない時期や3つの忙しい時期が全て重なった時期はだいぶ苦しく、辛かった。でもその中でも、いろいろなことを前もって計画的にこなすなど、見通しを持ってやる力がかなり成長したように感じた。
- 課題研究と発表を通して、研究の一連の流れを体験することができたのが良かった。発表では、自分たちだけでなく、聞いてくれた人も一緒になって考えてくれて、アドバイスを伝えてくれたので、ありがたいなと思った。
- バイオエタノールが雑草から作れないのかという疑問は中学生のうちから考えていたので、その疑問を、課題研究を通して解決できたので楽しく研究をすることができました。
- 課題研究を通して多くの自分なりの課題を見つけ、問題解決をすることで探究心を養い、自分の将来に向けて何が必要なのか考えることが出来た。
- 発表練習をもっとやっておくべきだった。また仲間ともっとコミュニケーションを取るべきだった。
- 教授の前で研究内容を発表するという貴重な経験ができて良かったです。質疑応答で思うように答えられなかったことが、後々実験ノートを見返したら書いてあったので悔しかったです。より知識をつけたいと思いました。
- 研究では、実験だけをしていればいいのではなく、他の人と協力し発表の準備などしなければならぬことも多く、常に視野を広く持つことが重要だと思った。
- 先輩の研究を引き継ぎ、研究を深めていくことができたのでよかった。まだまだ課題がたくさんあるので、さらに追求していきたいと思う。
- 色々な条件設定や、実験期間の長さから大変と感じたが、達成感があり良かった。思考力が上がった気がするので良い経験になった。